

大腸がんレジメン

CAPIRI療法
CAPOX療法
FOLFIRI療法
mFOLFOX6療法
mFOLFOXIRI療法
sLV5FU2療法
IRIS療法（3週間毎）
SOX療法
EC+mFOLFOX6療法
biweekly アービタックス+FOLFIRI療法
biweekly アービタックス+mFOLFOX6療法
biweekly アービタックス+sLV5FU2療法
biweekly アービタックス+イリノテカン
biweekly アービタックス療法
アービタックス療法（weekly）
エンコラフェニブ+biweeklyアービタックス療法
エンコラフェニブ+アービタックス療法
エンコラフェニブ+ビニメチニブ+biweeklyアービタックス
エンコラフェニブ+ビメチニブ+アービタックス療法
サイラムザ+FOLFIRI療法
ザルトラップ+FOLFIRI療法
フェスゴ療法
ベクティビックス+FOLFIRI療法
ベクティビックス+mFOLFOX6療法
ベクティビックス+sLV5FU2療法
ベクティビックス+イリノテカン療法
ベクティビックス療法
ベクティビックス+ソトラシブ療法
ベバシズマブ+CAPIRI療法
ベバシズマブ+CAPOX療法
ベバシズマブ+FOLFIRI療法
ベバシズマブ+IRIS療法（3週毎）
ベバシズマブ+S-1療法
ベバシズマブ+SOX療法
ベバシズマブ+mFOLFOX6療法
ベバシズマブ+sLV5FU2療法
ベバシズマブ+イリノテカン療法
ベバシズマブ+カペシタビン療法
ベバシズマブ+トリフルリジン・チピラシル療法
ベバシズマブ+ユーエフティ+ホリナート療法
ベバシズマブ+mFOLFOXIRI療法
大腸オブジーボ+ヤーボイ療法

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	トポテシン（イリノテカン）	200mg/m ²
	内服	カペシタビン	下記参照

● 投与スケジュール			所要時間	120分		
RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ ハ°ロ/セト静注0.75mg/5mL (アキシVHJ ★■テ°キート注射3.3mg1ml(テ°カ°ロ後 * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶 2管		1本目	
	点滴静脈内(速度)	★ト°テシ点滴静注(40mg,100mg) ▼500mL▼ 5%ブ°糖液 * 点滴時間 90分かけて	0mg 1袋		2本目	
	点滴静脈内	▲50mL▼大塚生食注 全開で点滴	1瓶		3本目	

[illegible]

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

UGT1A1が欠合体or複合ヘテロ接合体の場合、トポテシを減量するか、シリンは2週間服薬1週間休薬（1回800mg/m²×1日2回）E法

適応条件
か^ハシ^シ処^シン^ンの処方が必要（用量注意）

レジメン名	CAPOX療法	インターバル：	21 日
● 患者情報			
ID		身長	cm
氏名		体重	kg
生年月日		体表面積	m2
性別			
医師名			

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	オキサリプラチン	130mg/m ²
	内服	カペシタビン	下記参照

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

カパシピンは2週間服薬1週間休薬（1回1000mg/m²×1日2回）C法

適応条件

● 投与スケジュール			所要時間 150分														次クールへ									
RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
					1週目							2週目							3週目							
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ パロセトロン静注0.75mg/5mL (アロシVHJ) ★■デキサト注射3.3mg1ml(デカト)後 * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶 2管		1本目																					
	点滴静脈内(速度)	★オキサリプラチン点滴(50mg,100mg) ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		2本目																					
	点滴静脈内	▲100mL▼ 5%ブドウ糖液 全開で点滴	1瓶		3本目																					

内服薬

[illegible]

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m ²
	植込型カテーテル	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m ²
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m ²
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m ²

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

UGT1A1が欠接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トパテシを減量する

適応条件

レジメン名	mFOLFOX6療法	インターバル：	14 日
● 患者情報			
ID		身長	cm
氏名		体重	kg
生年月日		体表面積	m2
性別			
医師名			

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

レジメン説明
催吐性リスク：中等度

適応条件

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m ²
	植込型カテーテル	オキサリプラチン	85mg/m ²
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m ²
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m ²

[illegible]

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m ²
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m ²
	植込型カテーテル	オキサリプラチン	85mg/m ²
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m ²

● 投与スケジュール			所要時間	210分		
RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ パロセトロン静注0.75mg/5mL (アロシVHJ) ★■デキスト注射3.3mg1ml(デカトロン後) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶 3管		1本目	
	植込型カテーテル	★トボテン点滴静注(40mg,100mg) ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 1時間かけて	0mg 1袋		2本目	
	植込型カテーテル	★レボロリナ点滴静注(25mg,100mg)「ヤルト」 ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		3本目 側管から投与	
	植込型カテーテル	★オキサリプラチン点滴(50mg,100mg) ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて 側管から投与	0mg 1袋		3本目	
	植込型カテーテル	★フルオウラシル注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼ (レジメン用) * 点滴時間 46時間かけて シュアユーザーを用いて投与	0mg 100mL		4本目	

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：高度

UGT1A1が純接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トパテシを減量する

適応条件

● 患者情報

ID	身長	cm
氏名	体重	kg
生年月日	体表面積	m2
性別		
医師名		

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m2
	内服	S-1	下記参照

レジメン説明
催吐性リスク：中等度
UGT1A1が欠如接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トポテシを減量する
S-1は2週間服薬1週間休薬（1回40mg/m²×1日2回）C法

[次クールへ](#)

[illegible][illegible]

レジメン名

EC+mFOLFOX6療法

インターバル：14 日

● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

医師名

身長

体重

体表面積

cm

kg

m2

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	アービタックス	500mg/m2
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カテーテル	オキサリプラチン	85mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2
	内服	ビラフトビ（エンコラフェニブ）	下記参照

● 投与スケジュール

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
					1週目							2週目								
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■アキサート注射3.3mg1ml(アキサート注射後 ホファジン注5mg 1mL (車×) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 2管 1管		1本目															
	植込型カテーテル	★アービタックス注射液100mg 20mL ▲250mL▲大塚生食塩液ハック (レシメソ用) * 点滴時間 2時間かけて	0mg 250mL		2本目															
	植込型カテーテル	▲50mL▼大塚生食注 ハロノセロノ静注0.75mg/5mL (アキシVHJ) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶		3本目															
	植込型カテーテル	★レボホリナート点滴静注(25mg,100mg)「ヤルト」 ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		4本目	側管から同時投与の薬剤あり														
	植込型カテーテル	★オキサリプラチン点滴(50mg,100mg) ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて 側管から投与	0mg 1袋		4本目															
	点滴静脈内	★フルオロウラシル注1000mg/20mL ▲100mL▼ 5%ブドウ糖液 全開で点滴	0mg 0.5瓶		5本目															
	植込型カテーテル	★フルオロウラシル注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼ (レシメソ用) * 点滴時間 46時間かけて シュアビューザーを用いて投与	0mg 100mL		6本目															

内服薬

	薬剤略称	用量/単位	タイミング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ビラフトビ	1回300mg	1日1回															

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

ビラフトビ は連日服薬（1回300mg×1日1回）

適応条件

BRAF 遺伝子変異陽性

ビラフトビ の処方が必要

レジメン名

biweekly アービタックス+FOLFIRI療法

インターバル：

14 日

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	アービタックス	500mg/m2
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カテーテル	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

● 投与スケジュール

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■アキサート注射3.3mg1ml(アキサート後 ホフジン注5mg 1mL (単×) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 2管 1管		1本目														
	植込型カテーテル	★アビタックス注射液100mg 20mL ▲250mL▲ 生理食塩液ハック (レシメ) * 点滴時間 2時間かけて	0mg 250mL		2本目														
	植込型カテーテル	▲50mL▼大塚生食注 ハロノセト静注0.75mg/5mL (アロキシVHJ * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶		3本目														
	植込型カテーテル	★レボホリナート点滴静注(25mg,100mg)「ヤクルト」 ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		4本目	側管から同時投与の薬剤あり													
	植込型カテーテル	★トポテシン点滴静注(40mg,100mg) ▼500mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 90分かけて 側管から投与	0mg 1袋		4本目														
	点滴静脈内	★フルオロウラシル注1000mg/20mL ▲100mL▼ 5%ブドウ糖液 全開で点滴	0mg 0.5瓶		5本目														
	植込型カテーテル	★フルオロウラシル注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼ (レシメ用) * 点滴時間 46時間かけて シュアヒューサーを用いて投与	0mg 100mL		6本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度
UGT1A1が純接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トポテシンを減量する

適応条件

RAS/BRAF遺伝子野生型

レジメン名

biweekly アービタックス+mFOLFOX6療法

インターバル：

14 日

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	アービタックス	500mg/m2
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カテーテル	オキサリプラチン	85mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

適応条件

RAS/BRAF遺伝子野生型

● 投与スケジュール				所要時間	300分															次クールへ				
RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15					
					1週目							2週目												
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■アキサート注射3.3mg1ml(アキサート後) ホリナート注5mg 1mL (車×) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 2管 1管		1本目																			
	植込型カテーテル	★アビタックス注射液100mg 20mL ▲250mL▲生理食塩液ハック (レシメシ用) * 点滴時間 2時間かけて	0mg 250mL		2本目																			
	植込型カテーテル	▲50mL▼大塚生食注 ハロセト静注0.75mg/5mL (アキシVHJ) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶		3本目																			
	植込型カテーテル	★レボホリナート点滴静注(25mg,100mg)「ヤクルト」 ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		4本目	側管から同時投与の薬剤あり																		
	植込型カテーテル	★オキサリプラチン点滴(50mg,100mg) ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて 側管から投与	0mg 1袋		4本目																			
	点滴静脈内	★フルオロウラシル注1000mg/20mL ▲100mL▼ 5%ブドウ糖液 全開で点滴	0mg 0.5瓶		5本目																			
	植込型カテーテル	★フルオロウラシル注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼ (レシメシ用) * 点滴時間 46時間かけて シュアヒューザーを用いて投与	0mg 100mL		6本目																			

レジメン名	biweekly アービタックス+sLV5FU2療法	インターバル:	14 日
● 患者情報			
ID		身長	cm
氏名		体重	kg
生年月日		体表面積	m2
性別			
医師名			

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

レジメン説明
催吐性リスク：軽度

適応条件
RAS/BRAF遺伝子野生型

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	アービタックス	500mg/m2
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

[illegible]

レジメン名

biweekly アービタックス+イリノテカン

インターバル：

14 日

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	アービタックス	500mg/m2
	点滴静脈内(速度)	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間 270分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■デキサト注射3.3mg1ml(デカトロン後 ボラミン注5mg 1mL (車×) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 2管 1管		1本目														
	点滴静脈内(速度)	★アービタックス注射液100mg 20mL ▲250mL▲ 生理食塩液ハック（レジメ * 点滴時間 2時間かけて	0mg 250mL		2本目														
	点滴静脈内(速度)	▲50mL▼大塚生食注 パロセトロン静注0.75mg/5mL（アロキンVHJ * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶		3本目														
	点滴静脈内(速度)	★トポテシン点滴静注(40mg,100mg) ▼500mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 90分かけて	0mg 1袋		4本目														
	点滴静脈内	▲50mL▼大塚生食注 全開で点滴	1瓶		5本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

UGT1A1が純接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トポテシンを減量する

適応条件

RAS/BRAF遺伝子野生型

レジメン名

biweekly アービタックス療法

インターバル：

14 日

● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

医師名

身長

体重

体表面積

cm

kg

m2

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	アービタックス	500mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間 150分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■デキサート注射3.3mg1ml(デカトロン後 ボラミン注5mg 1mL (車×) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 2管 1管		1本目														
	点滴静脈内(速度)	★アービタックス注射液100mg 20mL ▲250mL▲ 生理食塩液ハック (レジメ * 点滴時間 2時間かけて	0mg 250mL		2本目														
	点滴静脈内(速度)	▲50mL▼大塚生食注 * 点滴速度 125mL/h アービタックスと同じ速度で点滴	1瓶		3本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：最小度

適応条件

RAS/BRAF遺伝子野生型

レジメン名

アービタックス療法（weekly）

インターバル：7 日

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：最小度

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	アービタックス	初回：400mg/m2 2回目以降：250mg/m2

適応条件

RAS/BRAF遺伝子野生型

● 投与スケジュール

				所要時間	初回：150分 2回目以降：90分 次クールへ							
RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8
					1週目							
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■デキサート注射3.3mg1ml(デカトロン後) ボラミン注5mg 1mL（車×） ＊点滴時間 30分かけて	1瓶 2管 1管		1本目							
	点滴静脈内(速度)	★アービタックス注射液100mg 20mL 初回の場合 点滴生理食塩バッグ「アソー」▲500mL▼（レジメ） ＊点滴時間 2時間かけて 2回目以降の場合 大塚生食注 ▲100mL▼（レジメ用） ＊点滴時間 1時間かけて	0mg 500mL 100mL		2本目							
	点滴静脈内(速度)	▲50mL▼大塚生食注 ＊点滴速度 250mL/h アービタックスと同じ速度で点滴	1瓶		3本目							

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	内服	ビラフトビ（エンコラフェニブ）	下記参照
	点滴静脈内(速度)	アービタックス	500mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間 150分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■デキサート注射3.3mg1ml(デカトロン後) ボラミン注5mg 1mL (車×) ＊点滴時間 30分かけて	1瓶 2管 1管		1本目														
	点滴静脈内(速度)	★アービタックス注射液100mg 20mL ▲250mL▲ 生理食塩液ハック（レジメ） ＊点滴時間 2時間かけて	0mg 250mL		2本目														
	点滴静脈内(速度)	▲50mL▼大塚生食注 ＊点滴速度 125mL/h アービタックスと同じ速度で点滴	1瓶		3本目														

内服薬

		薬剤略称		タイミング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		ビラフトビ	1回300mg	1日1回															

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

ビラフトビ は連日服用（1回300mg×1日1回）

適応条件

B

ビラフトビ の処方が必要

レジメン名

エンコラフェニブ+アービタックス療法

インターバル：

7 日

● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

医師名

身長

体重

体表面積

cm

kg

m2

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	内服	ビラフトビ（エンコラフェニブ）	下記参照
	点滴静脈内(速度)	アービタックス	初回：400mg/m2 2回目以降：250mg/m2

● 投与スケジュール

				所要時間	初回：150分 2回目以降：90分 次クールへ							
RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8
					1週目							
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■デキサート注射3.3mg1ml(デカトロン後) ボラミン注5mg 1mL（車×） ＊点滴時間 30分かけて	1瓶 2管 1管		1本目							
	点滴静脈内(速度)	★アビタックス注射液100mg 20mL 初回の場合 点滴生理食塩バッグ「アソー」▲500mL▼（レジメン用） ＊点滴時間 2時間かけて 2回目以降の場合 大塚生食注 ▲100mL▼（レジメン用） ＊点滴時間 1時間かけて	0mg 500mL 100mL		2本目							
	点滴静脈内(速度)	▲50mL▼大塚生食注 ＊点滴速度 250mL/h アビタックスと同じ速度で点滴	1瓶		3本目							

内服薬

		薬剤略称		タイミング	1	2	3	4	5	6	7	8
		ビラフトビ	1回300mg	1日1回								

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

ビラフトビ は連日服用（1回300mg×1日1回）

適応条件

B

ビラフトビ の処方が必要

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	内服	ビラフトビ（エンコラフェニブ）	下記参照
	内服	メクトビ（ビニメチニブ）	下記参照
	点滴静脈内(速度)	アービタックス	500mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間 150分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■デキサート注射3.3mg1ml(デカトロン後 ボラミン注5mg 1mL（車×） * 点滴時間 30分かけて	1瓶 2管 1管		1本目														
	点滴静脈内(速度)	★アービタックス注射液100mg 20mL ▲250mL▲ 生理食塩液ハック（レジメ * 点滴時間 2時間かけて	0mg 250mL		2本目														
	点滴静脈内(速度)	▲50mL▼大塚生食注 * 点滴速度 125mL/h アービタックスと同じ速度で点滴	1瓶		3本目														

内服薬

		薬剤略称		タイミング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		ビラフトビ	1回300mg	1日1回															
		メクトビ	1回45mg	朝 夕															

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

ビラフトビ は連日服用（1回300mg×1日1回）

メクトビ

適応条件

B

3剤併用する理由を、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること

ビラフトビ、メクトビ の処方が必要

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	内服	ビラフトビ（エンコラフェニブ）	下記参照
	内服	メクトビ（ビニメチニブ）	下記参照
	点滴静脈内(速度)	アービタックス	初回：400mg/m2 2回目以降：250mg/m2

● 投与スケジュール

				所要時間	初回：150分 2回目以降：90分								次クールへ	
RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8		
					1週目									
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■デキサート注射3.3mg1ml(デカトロン後) ボラミン注5mg 1mL（車×） ＊点滴時間 30分かけて	1瓶 2管 1管		1本目									
	点滴静脈内(速度)	★アービタックス注射液100mg 20mL 初回の場合 点滴生理食塩バッグ「フソー」▲500mL▼（レジメン用） ＊点滴時間 2時間かけて	0mg 500mL		2本目									
		2回目以降の場合 大塚生食注 ▲100mL▼（レジメン用） ＊点滴時間 1時間かけて	100mL											
	点滴静脈内(速度)	▲50mL▼大塚生食注 ＊点滴速度 250mL/h アービタックスと同じ速度で点滴	1瓶		3本目									

内服薬

		薬剤略称		タイミング	1	2	3	4	5	6	7	8
		ビラフトビ	1回300mg	1日1回								
		メクトビ	1回45mg	朝 夕								

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

ビラフトビは連日服用（1回300mg×1日1回）

メクトビ

適応条件

B

3剤併用する理由を、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること

ビラフトビ、メクトビの処方が必要

レジメン名サイラムザ+FOLFIRI療法

インターバル：14日

● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

医師名

身長

体重

体表面積

cm

kg

m2

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	サイラムザ	8mg/kg
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カテーテル	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

● 投与スケジュール

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ ★■アキアト注射3.3mg1ml(アキアト後ホフミン注5mg 1mL (単×)) * 点滴時間 30分かけて インフインフィルター使用	1瓶 2管 1管		1本目														
	植込型カテーテル	★サイラムザ (100mg,500mg) ▲250mL▲生理食塩液ハック (レシメソ用) * 点滴時間 60分かけて インフインフィルター使用	0mg 250mL		2本目														
	植込型カテーテル	▲50mL▼大塚生食注 ハロノセト静注0.15mg/5mL (ハロノセトVHJ) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶		3本目														
	植込型カテーテル	★レボホリナート点滴静注(25mg,100mg)「ヤクルト」 ▲250mL▼ 5%ノト7糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		4本目	側官から同時投与の薬剤あり													
	植込型カテーテル	★トポテシン点滴静注(40mg,100mg) ▼500mL▼ 5%ノト7糖液 * 点滴時間 90分かけて 側官から投与	0mg 1袋		4本目														
	点滴静脈内	★フルオロウラシル注1000mg/20mL ▲100mL▼ 5%ノト7糖液 全開で点滴	0mg 0.5瓶		5本目														
	植込型カテーテル	★フルオロウラシル注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼ (レシメソ用) * 点滴時間 46時間かけて シュノビューサーを用いて投与	0mg 100mL		6本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度
サイラムザは投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能
(2回目以降：30分)
UGT1A1が欠損接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トポテシンを減量する

適応条件

レジメン名	ザルトラップ+FOLFIRI療法	インターバル:	14 日
● 患者情報			
ID		身長	cm
氏名		体重	kg
生年月日		体表面積	m2
性別			
医師名			

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植入型カテーテル	ザルトラップ	4mg/kg
	植入型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植入型カテーテル	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植入型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

UGT1A1が単接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トコステンを減量する

適応条件

● 投与スケジュール

所要時間 210分

次クールへ

[illegible]

● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

医師名

身長

体重

体表面積

cm

kg

m2

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	ベクティビックス	6mg/kg
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カテーテル	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間 210分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	植込型カテーテル	★ベクティビックス点滴静注100mg 5mL 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 1時間かけて インラインフィルター使用	0mg 1瓶		1本目														
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ パロセトロン静注0.75mg/5mL（アロキシVHJ） ★■デキサト注射3.3mg1ml(デカトロン)後 * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶 2管		2本目														
	植込型カテーテル	★レボホリナート点滴静注(25mg,100mg)「ヤクルト」 ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		3本目	側管から同時投与の薬剤あり													
	植込型カテーテル	★トポテシン点滴静注(40mg,100mg) ▼500mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 90分かけて 側管から投与	0mg 1袋		3本目														
	点滴静脈内	★フルオロウラシル注1000mg/20mL ▲100mL▼ 5%ブドウ糖液 全開で点滴	0mg 0.5瓶		4本目														
	植込型カテーテル	★フルオロウラシル注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼（レジメン用） * 点滴時間 46時間かけて シュアヒューザーを用いて投与	0mg 100mL		5本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

UGT1A1が純接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トポテシンを減量する

適応条件

RAS/BRAF遺伝子野生型

● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

医師名

身長

体重

体表面積

cm

kg

m2

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	ベクティビックス	6mg/kg
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カテーテル	オキサリプラチン	85mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間210分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	植込型カテーテル	★ベクティビックス点滴静注100mg 5mL 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 1時間かけて インラインフィルター使用	0mg 1瓶		1本目														
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ パロセトロン静注0.75mg/5mL (アロキシVHJ) ★■デキサト注射3.3mg1ml(デカトロン後) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶 2管		2本目														
	植込型カテーテル	★レボホリナート点滴静注(25mg,100mg)「ヤクルト」 ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		3本目	側管から同時投与の薬剤あり													
	植込型カテーテル	★オキサリプラチン点滴(50mg,100mg) ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて 側管から投与	0mg 1袋		3本目														
	点滴静脈内	★フルオロウラシル注1000mg/20mL ▲100mL▼ 5%ブドウ糖液 全開で点滴	0mg 0.5瓶		4本目														
	植込型カテーテル	★フルオロウラシル注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼ (レジメン用) * 点滴時間 46時間かけて シュアヒューザーを用いて投与	0mg 100mL		5本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

適応条件

RAS/BRAF遺伝子野生型

● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

医師名

身長

体重

体表面積

cm

kg

m2

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	ベクティビックス	6mg/kg
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間210分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	植込型カテーテル	★ベクティビックス点滴静注100mg 5mL 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 1時間かけて インラインフィルター使用	0mg 1瓶		1本目														
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ グランドセロン静注液1mg「F」 1mL ★■デキサート注射3.3mg1ml(デキロン後 * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1管 2管		2本目														
	植込型カテーテル	★レボホリナート点滴静注(25mg,100mg)「ヤクルト」 ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		3本目														
	点滴静脈内	★フルオロウラシル注1000mg/20mL ▲100mL▼ 5%ブドウ糖液 全開で点滴	0mg 0.5瓶		4本目														
	植込型カテーテル	★フルオロウラシル注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼ (レジメン用) * 点滴時間 46時間かけて シュアヒューザーを用いて投与	0mg 100mL		5本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：軽度

適応条件

RAS/BRAF遺伝子野生型

レジメン名	ベクティビックス+イリノテカン療法	インターバル：	14 日
-------	-------------------	---------	------

● 患者情報

ID	身長	cm
氏名	体重	kg
生年月日	体表面積	m2
性別		
医師名		

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベクティビックス	6mg/kg
	点滴静脈内(速度)	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間 180分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	点滴静脈内(速度)	★ベクティビックス点滴静注100mg 5mL 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 1時間かけて インラインフィルター使用	0mg 1瓶		1本目														
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ パロセトロン静注0.75mg/5mL（アロキシVHJ） ★■デキサート注射3.3mg1ml(デカトロン後) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶 2管		2本目														
	点滴静脈内(速度)	★トポテシン点滴静注(40mg,100mg) ▼500mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 90分かけて	0mg 1袋		3本目														
	点滴静脈内	▲50mL▼大塚生食注 全開で点滴	1瓶		4本目														

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

UGT1A1が純接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トポテシンを減量する

適応条件

RAS/BRAF遺伝子野生型

レジメン名

ベクティビックス療法

インターバル：14 日

● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

医師名

身長

体重

体表面積

cm

kg

m2

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベクティビックス	6mg/kg

● 投与スケジュール

所要時間 60分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	点滴静脈内(速度)	★ベクティビックス点滴静注100mg 5mL 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 1時間かけて インラインフィルター使用	0mg 1瓶		1本目														
	点滴静脈内	▲50mL▼大塚生食注 全開で点滴	1瓶		2本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：最小度

適応条件

RAS/BRAF遺伝子野生型

レジメン名

ベクティビックス+ソトラシブ療法

インターバル：14 日

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベクティビックス	6mg/kg
	内服	ルマケラス（ソトラシブ）	下記参照

● 投与スケジュール

所要時間 60分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	点滴静脈内(速度)	★ベクティビックス点滴静注100mg 5mL 大塚生食注 ▲100mL▼ *点滴時間 1時間かけて インラインフィルター使用	0mg 1瓶		1本目														
	点滴静脈内	▲50mL▼大塚生食注 全開で点滴	1瓶		2本目														

内服薬

		薬剤略称		タイミング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		ルマケラス	1回960mg	1日1回															

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：最小度
ルマケラス は連日服薬（1回960mg×1日1回）

適応条件

KRAS G12C変異陽性
ルマケラス の処方が必要

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベバシズマブ (BS)	7.5mg/kg
	点滴静脈内(速度)	トポテシン (イリノテカン)	200mg/m2
	内服	カペシタビン	下記参照

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

か°シタビンの処方が必要（用量注意）

[illegible][illegible]

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベバシズマブ(BS)	7.5mg/kg
	点滴静脈内(速度)	オキサリプラチン	130mg/m2
	内服	カペシタビン	下記参照

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

催吐性リスク：中等度

ベバシマブは投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能

(2回目：60分、3回目以降：30分)

カペシチンは2週間服薬1週間休薬（1回1000mg/m²×1日2回）C法

適応条件

か° シタビ° の処方が必要

所要時間 240分

次クールへ

[illegible]

内服薬

[illegible]

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	ベバシズマブ（BS）	5mg/kg
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カテーテル	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間240分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	植込型カテーテル	★ベバシズマブ BS注(100mg,400mg)VHJ 大塚生食注 ▲100mL▼ ＊点滴時間 90分かけて	0mg 1瓶		1本目														
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ パロセトロン静注0.75mg/5mL（アキシVHJ ★■デキサート注射3.3mg1ml(デカトロン後 ＊点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶 2管		2本目														
	植込型カテーテル	★レボホリナート点滴静注(25mg,100mg)「ヤクルト」 ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 ＊点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		3本目	側管から同時投与の薬剤あり													
	植込型カテーテル	★トポテシン点滴静注(40mg,100mg) ▼500mL▼ 5%ブドウ糖液 ＊点滴時間 90分かけて 側管から投与	0mg 1袋		3本目														
	点滴静脈内	★フルオロウラシル注1000mg/20mL ▲100mL▼ 5%ブドウ糖液 全開で点滴	0mg 0.5瓶		4本目														
	植込型カテーテル	★フルオロウラシル注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼（レジメン用） ＊点滴時間 46時間かけて シュアビューザーを用いて投与	0mg 100mL		5本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

ベバシズマブは投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能
(2回目：60分、3回目以降：30分)

UGT1A1が純接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トポテシンを減量する

適応条件

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベバシズマブ (BS)	7.5mg/kg
	点滴静脈内(速度)	トポテシン (イリノテカン)	150mg/m2
	内服	S-1	下記参照

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

UGT1A1が単接合体or複合ヘテロ接合体の場合、ト・テンを減量する

S-1の処方が必要

[illegible][illegible]

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベバシズマブ (BS)	7.5mg/kg
	内服	S-1	下記参照

[illegible][illegible]

--	--	--

S-1は2週間服薬1週間休薬（1回40mg/m²×1日2回）C法

S-1の処方が必要

レジメン名	ベバシズマブ+SOX療法	インターバル：	21 日
-------	--------------	---------	------

● 患者情報			
ID		身長	cm
氏名		体重	kg
生年月日		体表面積	m2
性別			
医師名			

● 使用する抗がん剤：			
RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベバシズマブ (BS)	7.5mg/kg
	点滴静脈内(速度)	オキサリプラチン	130mg/m2
	内服	S-1	下記参照

● 投与スケジュール		所要時間	240分
------------	--	------	------

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
					1週目				2週目				3週目													
	点滴静脈内(速度)	★ベバシズマブ BS注(100mg,400mg)VHJ 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 90分かけて	0mg 1瓶		1本目																					
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ パロセトロン静注0.75mg/5mL (アロキシVHJ) ★■デキサト注射3.3mg1ml(デカトロン後) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶 2管		2本目																					
	点滴静脈内(速度)	★オキサリプラチン点滴(50mg,100mg) ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		3本目																					
	点滴静脈内	▲100mL▼ 5%ブドウ糖液 全開で点滴	1瓶		4本目																					

内服薬		薬剤略称		タイミング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		S-1 《体表面積》 1.25m2未満 1.25m2以上～1.5m2未満 1.5m2以上	《1回量》 40mg/回 50mg/回 60mg/回	朝 夕																						

医師コメント	薬剤師コメント	看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

S-1は2週間服薬1週間休薬（1回40mg/m2×1日2回）C法

ベバシズマブは投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能（2回目：60分、3回目以降：30分）

適応条件

S-1の処方が必要

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	ペバシズマブ (BS)	5mg/kg
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カテーテル	オキサリプラチン	85mg/m2
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

[illegible]

--	--	--

(2回目：60分、3回目以降：30分)

適応条件

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	ベバシズマブ (BS)	5mg/kg
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m ²
	点滴静脈内	フルオロウラシル	400mg/m ²
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m ²

● 投与スケジュール			所要時間		240分	
RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2
	植込型カテーテル	★ベ ⁺ パ ⁺ シズマ ⁺ BS注(100mg,400mg)VHJ 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 90分かけて	0mg 1瓶		1本目	
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ ゲラニセトロン静注液1mg「F」 1mL ★■テ ⁺ キート注射3.3mg1ml(テ ⁺ カト ⁺ ロン後 * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1管 2管		2本目	
	植込型カテーテル	★レボ ⁺ ホリナト点滴静注(25mg,100mg)「ヤクルト」 ▲250mL▼ 5%ブ ⁺ ト ⁺ ウ糖液 * 点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		3本目	
	点滴静脈内	★フルオウラシ注1000mg/20mL ▲100mL▼ 5%ブ ⁺ ト ⁺ ウ糖液 全開で点滴	0mg 0.5瓶		4本目	
	植込型カテーテル	★フルオウラシ注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼ (レジ ⁺ メン用) * 点滴時間 46時間かけて シュアヒューザーを用いて投与	0mg 100mL		5本目	

レジメン説明
催吐性リスク：軽度
「パシマブ」は投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能
(2回目：60分、3回目以降：30分)

適応条件

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベバシズマブ (BS)	5mg/kg
	点滴静脈内(速度)	トポテシン (イリノテカン)	150mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間 210分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	点滴静脈内(速度)	★ベバシズマブ BS注(100mg,400mg)VHJ 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 90分かけて	0mg 1瓶		1本目														
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ パロセトロン静注0.75mg/5mL (アロキシVHJ) ★■デキサート注射3.3mg1ml(デカトロン後) * 点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶 2管		2本目														
	点滴静脈内(速度)	★トポテシン点滴静注(40mg,100mg) ▼500mL▼ 5%ブドウ糖液 * 点滴時間 90分かけて	0mg 1袋		3本目														
	点滴静脈内	▲50mL▼大塚生食注 全開で点滴	1瓶		4本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

ベバシズマブ は投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能
(2回目：60分、3回目以降：30分)

UGT1A1が純接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トポテシンを減量する

適応条件

レジメン名

ベバシズマブ+カペシタビン療法

インターバル：21 日

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベバシズマブ (BS)	7.5mg/kg
	内服	カペシタビン	下記参照

● 投与スケジュール

所要時間90分

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2
	点滴静脈内(速度)	★ベ`バ`シズ`マブ` BS注(100mg,400mg)VHJ 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 90分かけて	0mg 1瓶		1本目	
	点滴静脈内	▲50mL▼大塚生食注 全開で点滴	1瓶		2本目	

内服薬

		薬剤略称		タイミング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		カペシタビン		朝																						
		《体表面積》	《1回量》	夕																						
		1.36m2未満	1200mg																							
		1.36m2以上～1.66m2未満	1500mg																							
		1.66m2以上～1.96m2未満	1800mg																							
		1.96m2以上	2100mg																							

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：軽度

ベバシズマブ は投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能
(2回目：60分、3回目以降：30分)

カペシタビンは2週間服薬1週間休薬（1回1000mg/m2×1日2回）C法

適応条件

カペシタビンの処方が必要

レジメン名 ベバシズマブ+トリフルリジン・チピラシル療法 インターバル： 28 日

● 患者情報

ID	身長	cm
----	----	----

氏名	体重	kg
----	----	----

生年月日	体表面積	m2
------	------	----

性別

醫師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベバシズマブ (BS)	5mg/kg
	内服	ロンサーフ (トリフルリジン・チピラシル)	下記参照

● 投与スケジュール

所要時間 90分

90分

次クールへ

[illegible]

内服薬

[illegible]

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

--	--	--

レジメン説明

催吐性リスク：中等度

ベハシマブは投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能

(2回目：60分、3回目以降：30分)

ロサ-7は5日間服薬2日間休薬×2→14日間休薬（1回35mg/m²×1日2回）

適応条件

ロソナー7の処方が必要

レジメン名

ベバシズマブ+ユーエフティ+ホリナート療法

インターバル：

28 日

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	ベバシズマブ (BS)	5mg/kg
	内服	ユーエフティ	下記参照
	内服	ホリナート	下記参照

● 投与スケジュール

				所要時間 90分														90分														次クールへ	
RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
					1週目							2週目							3週目							4週目							
	点滴静脈内(速度)	★ベバシズマブ BS注(100mg,400mg)VHJ 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 90分かけて	0mg 1瓶		1本目														1本目														
	点滴静脈内	▲50mL▼大塚生食注 全開で点滴	1瓶		2本目														2本目														

内服薬

		薬剤略称		タイミング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
		ユーエフティ 《体表面積》：《午前-午後-夜間》 1.17m2未満：100-100-100mg 1.17m2以上～1.5m2未満：200-100-100mg 1.5m2以上～1.84m2未満：200-200-100mg 1.84m2以上：200-200-200mg ホリナート（ユーエフティと同時服薬） 1回25mg		午前 午後 夜間 ※8時間毎																													

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：軽度
ベバシズマブ は投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能
(
ユーエフティは3週間服薬1週間休薬（1回100mg/m2×1日3回 8時間毎）
ホリナートは3週間服薬1週間休薬（1回25mg×1日3回 8時間毎）

適応条件

ユーエフティ、ホリナートの処方が必要

● 患者情報

ID

身長

cm

氏名

体重

kg

生年月日

体表面積

m2

性別

医師名

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	植込型カテーテル	ベバシズマブ(BS)	5mg/kg
	植込型カテーテル	トポテシン（イリノテカン）	150mg/m2
	植込型カテーテル	レボホリナート	200mg/m2
	植込型カテーテル	オキサリプラチン	85mg/m2
	植込型カテーテル	フルオロウラシル	2400mg/m2

● 投与スケジュール

所要時間300分

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					1週目							2週目							
	植込型カテーテル	★ベバシズマブ BS注(100mg,400mg)VHJ 大塚生食注 ▲100mL▼ ＊点滴時間 90分かけて	0mg 1瓶		1本目														
	植込型カテーテル	大塚生食注 ▲100mL▼ パロセトロン静注0.75mg/5mL（アキシVHJ ★■デキサート注射3.3mg1ml(デカトロン後 ＊点滴時間 30分かけて	1瓶 1瓶 3管		2本目														
	植込型カテーテル	★トポテシン点滴静注(40mg,100mg) ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 ＊点滴時間 1時間かけて	0mg 1袋		3本目														
	植込型カテーテル	★レボホリナート点滴静注(25mg,100mg)「ヤクルト」 ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 ＊点滴時間 2時間かけて	0mg 1袋		4本目	側管から同時投与の薬剤あり													
	植込型カテーテル	★オキサリプラチン点滴(50mg,100mg) ▲250mL▼ 5%ブドウ糖液 ＊点滴時間 2時間かけて 側管から投与	0mg 1袋		4本目														
	植込型カテーテル	★フルオロウラシル注1000mg/20mL 大塚生食注 ▲100mL▼（レジメン用） ＊点滴時間 46時間かけて シュアユーザーを用いて投与	0mg 100mL		5本目														

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明

催吐性リスク：高度

ベバシズマブは投与時の忍容性が良好なら点滴時間の短縮が可能
(2回目：60分、3回目以降：30分)

UGT1A1が純接合体or複合ヘテロ接合体の場合、トポテシンを減量する

適応条件

レジメン名

大腸オブジーボ+ヤーボイ療法

インターバル：21 日

● 患者情報

ID

氏名

生年月日

性別

医師名

身長

体重

体表面積

cm

kg

m2

● 使用する抗がん剤：

RP	手技	薬剤略称	標準値(1回量)
	点滴静脈内(速度)	オブジーボ	240mg
	点滴静脈内(速度)	ヤーボイ	1mg/kg

● 投与スケジュール

所要時間 90分

次クールへ

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
					1週目				2週目				3週目													
	点滴静脈内(速度)	★オブジーボ 点滴静注(120mg,240mg) 大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 30分かけて インラインフィルター使用	0mg 1瓶		1本目																					
	点滴静脈内(速度)	大塚生食注 ▲100mL▼ * 点滴時間 30分かけて インラインフィルター使用	1瓶		2本目																					
	点滴静脈内(速度)	★ヤーボイ点滴静注液(20mg,50mg) ▲50mL▼大塚生食注 (レジメン用) * 点滴時間 30分かけて インラインフィルター使用	0mg 20mL		3本目																					
	点滴静脈内	▲50mL▼大塚生食注 全開で点滴	1瓶		4本目																					

医師コメント

薬剤師コメント

看護師コメント

レジメン説明
催吐性リスク：最小度

適応条件
上限：4クール
MSH-highを有する直腸・結腸がん